

平成 27 年度 全国安全対策委員長会議議事録

日 時 平成 26 年 11 月 01 日 (土) 13:00~16:00

場 所 岸記念体育会館 102・103 会議室

出席者 各加盟団体安全対策委員長(代理)

役 員 山田 隆、秋元 洋一、富樫 泰一、鈴木 恵太、織田 久

日本スキーパトロール協議会 一戸 繁輝、保坂 淳司

(敬称略、順不同)

1. 出席者紹介 (織田久)

(公財)全日本スキー連盟教育本部安全対策部

部長：山田 隆

事業委員会・技術検定委員会委員長：秋元 洋一， 事業委員会副委員長：富樫 泰一，

技術検定委員会副委員長：鈴木 恵太， 委員：織田 久

日本スキーパトロール協議会 (JSPA) 会長：一戸 繁輝， 事務局長：保坂 淳司

加盟団体安全対策委員長または代理人

北海道スキー連盟	後藤 博昭	安全対策部長
青森県スキー連盟	木村 進純	安全対策委員長
岩手県スキー連盟	高畑 伸也	安全対策委員長
宮城県スキー連盟	照井 敏勝	安全対策部長
秋田県スキー連盟	田口 晶英	副理事長
山形県スキー連盟	鈴木 恵太	安全対策部長
福島県スキー連盟	安田 耕寿	理事/安全対策部長
茨城県スキー連盟	高瀬 勝則	安全対策部長
	山口 哲	安全対策副部長
栃木県スキー連盟	新井 和夫	安全対策部長
群馬県スキー連盟	森山 直温	安全対策部長
東京都スキー連盟	大信田 雅伸	医事・安全対策委員長
神奈川県スキー連盟	上杉 一哲	安全対策委員長
山梨県スキー連盟	船久保 元孝	安全対策部長
長野県スキー連盟	田村 一司	安全対策委員長
新潟県スキー連盟	川内 慎吾	安全対策委員長
富山県スキー連盟	原野 浩司	安全対策副部長
石川県スキー連盟	丸七 茂樹	安全対策委員長
福井県スキー連盟	扇浦 行弘	安全対策部長
愛知県スキー連盟	小椋 健司	安全対策部長
三重県スキー連盟	竹内 和雄	安全対策委員長
滋賀県スキー連盟	片岡 弘明	安全対策委員長

兵庫県スキー連盟	米田 幸雄	安全対策委員会総務
鳥取県スキー連盟	伊沢 正純	委員長代理

## 2. 開会宣言（秋元 洋一）

## 3. 安全対策部長挨拶（山田 隆）

安全対策の役目とは何かを考えて活動にあたって頂きたい。

## 4. SAJ 報告事項

### (1) 2013-2014 シーズン安全対策部事業報告（秋元 洋一）

資料 01 をもとに説明した。

検定種目を変更して 2 年目となる。今後反省すべき点があれば改善していきたい。

### (2) FIPS 報告（富樫 泰一）

資料 02 をもとに説明した。

次回開催はイタリアである。

### (3) 2014 シーズンスキー傷害報告（富樫 泰一）

資料 03 をもとに説明した。

ヘルメットの着用率は、一昨年は 20% であり昨年は 24.3% であった。特にスノーボードの着用率が低いので、着用率の向上を目指して頂きたい。

### (4) 2014-2015 研修テーマについて（鈴木 恵太）

オフィシャルブック 2015 をもとに説明した。

### (5) 2014-2015 シーズン事業計画（織田 久）

オフィシャルブック 2015 をもとに説明した。

### (6) その他（秋元 洋一、富樫 泰一）

安全対策部のホームページ URL が変更になった。

検定会の会期短縮について、規程では「3 日間を原則とする」となっているが、今年度は 2 日間で実施する。

他加盟団体で研修会を受講するときは、主管加盟団体の事務局へ直接問い合わせて頂きたい。尚、今年度開催される加盟団体主管の研修会は以下の通りである。

北海道・青森県・岩手県・宮城県・山形県・茨城県・群馬県・東京都・福井県・滋賀県

## 議事 4. の各項についての質疑応答

木村 進純（青森県）：スキー安全会の小林氏は出席されないのか。

回答：事情により今年度は欠席である。

小椋 健司（愛知県）：FIPS 報告をみると、他国は医療・気象等において進んでいると感じる。SAJ としての組織強化はどのようになっているのか。

回答：組織強化についての増員について SAJ からの承認をまだうけられていない。引き続き組織強化に努めていきたい。

木村 進純（青森県）：技術競技会のペナルティの発表方法等を工夫してもらいたい。

回答：改善していきたい。また、故意の危険行為は慎んで頂きたい。

丸七 茂樹（石川県）：SAJの研修会開催方針はどのようなものか。

回答：西日本ブロック向けとスキーパトロール技術競技大会と併催の研修会は残していく方向で考えている。尚、今年度の検定会の日程がおおしく変わったが、指導員検定の日程変更等の影響であるが、次年度以降は例年通りとしたい。

大信田 雅伸（東京都）、照井 敏勝（宮城県）：スキーパトロール技術競技大会のエントリーフィーの値下げを検討してもらいたい。

回答：値下げに向け努力する。

伊沢 正純（鳥取県）：FIPS報告を見ると、日本のパトロールには不足しているところがあると感じる。SAJとしてどのように改善するか考えてもらいたい。

回答：研修会において、内容を工夫してスキルアップに努めたい。また、医療・山岳・気象等の専門家と協力した体制を作りたい。あゆみは遅いかもかもしれないが、着実に進めていく。

丸七 茂樹（石川県）：ドクターパトロールの活用はどのように考えているのか。

回答：FIPSでは、医師が医療部門を担当している。見習うところが多いと考えている。

## 5. 加盟団体報告（秋元 洋一）

船久保 元孝（山梨県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

伊沢 正純（鳥取県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

ジュニアスキー指導に関して、教職員を対象とした安全講習に力を入れている。

片岡 弘明（滋賀県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

バックボードの講習を開催した。

森山 直温（群馬県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

今年度のスキーパトロール技術競技大会への、多数の参加をお願いしたい。

原野 浩司（富山県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

一人でも多くスキーパトロール受検者数が増加するよう努めていきたい。

高瀬 勝則（茨城県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

県連の役員向けに日赤講習を実施している。

米田 幸雄（兵庫県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

新井 和夫（栃木県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

田村 一司（長野県）

報告事項は、資料04に記載の通り。

警察・消防・山小屋等と協力して、安全に関する意見交換を実施した。

大信田 雅伸（東京都）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

アンチ・ドーピングに関する講習会を実施した。

上杉 一哲（神奈川県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

川内 慎吾（新潟県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

スキーパトロール受検者が 0 名であり、残念であった。

県の観光局主催でスキー場安全対策協議会が実施された。

高畑 伸也（岩手県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

安田 耕寿（福島県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

備品としてバックボードを購入することができた。加盟団体主管の各種大会等に活用していく予定である。

田口 晶英（秋田県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

加盟団体主管の研修会を開催することにより、全体の受講者増員に寄与したい。

照井 敏勝（宮城県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

今年度のスキーパトロール検定会がオニコウベで開催される。

木村 進純（青森県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

加盟団体主管の研修会を開催することができた。さらなる増員を目指している。

後藤 博昭（北海道）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

加盟団体主管の研修会を、道内各地の持ち回りの要領で開催していきたい。

扇浦 行弘（福井県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

竹内 和雄（三重県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

丸七 茂樹（石川県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

消防と防災合同訓練を実施した。ドクターパトロールによる講習会を開催した。

小椋 健司（愛知県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

今年度は加盟団体主管の研修会を開催しない。今後は、隔年での開催としたい。

鈴木 恵太（山形県）

報告事項は、資料 04 に記載の通り。

昨年度、冬の国体へ協力した。バックボードを使用する際、雪上において滑る等の不

都合があったので、この経験を生かしたい。

6. 日本スキーパトロール協議会報告（一戸 繁輝，保坂 淳司）

保坂 淳司（事務局長）

総会を福島県で開催した。次回は青森県で開催予定である。

7. その他

後藤 博昭（北海道）：バックボードについて、消防で講習を受けることができるので、参考にされてはいかがか。

新井 和夫（栃木県）：栃木県では消防へ救急を要請するとドクターヘリの出動頻度がたかく、かつドクターヘリが出動すると、必ず警察の現場検証も実施される。他県ではどのように運用されているか伺いたい。

回答：消防へ救急を要請してから、ドクターヘリの出動が決定する。特に警察の現場検証は実施されない。警察への通報は栃木県での運用なのではないか。木村 進純（青森県）、田村 一司（長野県）、米田 幸雄（兵庫県）、後藤 博昭（北海道）、船久保 元孝（山梨県）

新井 和夫（栃木県）：パトロールの人員不足に悩まされている。待遇の面等、人員確保の工夫点について他県の状況を伺いたい。

回答：SAJで調査・分析を計画しているので、参考にして頂きたい。

8. 閉会宣言（秋元 洋一）

以上